

工藤 けいこ



ごあいさつ

皆さまには平素より、温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

働きながら3人の子どもを育てている「母親目線」「女性目線」を活かした子育てサポート施策の充実と、地域共生食堂の運営や南花台クルクルなどのボランティア活動から得られる「現場目線」を活かした高齢者サポート施策など、より深く幅広い市民サービスの拡充を目指し、これからも全力で取り組んでまいります！

河内長野市議会議員 工藤 けいこ

令和6年3月市議会定例会のご報告

循環型社会の実現に向けて

工藤 燃えるごみの戸別収集という選択ができなかった代わりに、市民の利便性向上に向けて大きな予算をつけ、別の方法で対応頂きありがとうございます。手厚いごみ収集はコストが上がる。ごみを減らす取組としてバッグ型コンポストを推奨してはどうか。

答弁 ごみの減量は、ごみ施策全般にわたり根幹となる取組。バック型コンポストでごみの減量ができるのは非常にいいと思う。

工藤 コンポストでできた堆肥を、コミュニティガーデンや花植えボランティア、公園や学校で使ってはどうか。

答弁 地域のボランティアの方々や、指定管理者と合意形成の中で活用できる仕組みが整えば、可能性があると思う。

工藤 ごみをさらに減らすため、環境省が推す、紙おむつのリサイクルに取り組んではどうか。

答弁 循環型社会への取り組みは、一時的に発生したごみをどうするというのではなく、その後の流れ、サイクルをしっかり構築しなければならず、課題も大変多い。提案を参考にしながら研究していきたい。

この質問をした理由

ごみ収集量が減少すると、ごみ収集の時間が短縮できるだけでなく、重さも軽くなり運搬に使う燃料も減り、CO2排出削減につながります。

コンポストの普及については農林水産省が交付金をつけており、この機会に堆肥の活用についても研究を進めていただけるよう要望させていただきました。

環境省によると、既に子ども用おむつの回収よりも介護用おむつの回収が多くなっている所もあり、これからの超高齢化社会では、この介護用おむつ回収が問題となる事が予測されるため、環境省の助成金や企業マッチングなどのサポートを活用し、早期のリサイクル方法の確立といった対策も要望させていただきました。

中心市街地活性化について

工藤 市の顔である、河内長野駅前広場の連絡通路と階段に付いた黒ずみとエフロを一度徹底的にきれいにしてはどうか

答弁 現地を確認して、清掃業者に相談した。効果的な清掃方法を検討し、対応していきたい。

工藤 商店街のシャッターにウォールアートを描いて映えスポットにしては。

答弁 地元商店街の意向があれば、市も何らかの形で支援をさせていただく。

この質問をした理由

駅前広場の連絡通路は、階段・エレベーター・エスカレーターが使えるので移動しやすく、ハード面では整備は完了していますが、階段の黒ずみやエフロ(白い結晶)など汚れが目立ち「河内長野の顔」としてはまだまだ残念な状況にあります。

駅前通路が竣工して35年が経った今、より居心地のよいまちづくりのために一度徹底的な洗浄を行い綺麗な環境づくりをしていただくよう提案させていただきました。

市の担当者からも「現地確認し効果的な清掃の方法を検討して対応していきたい」と前向きな回答をいただきました。

YouTube動画でもご覧いただけます!

YouTubeチャンネルへは、右のQRコードもしくはYouTubeで“工藤けいこ 河内長野”を検索してください。



工藤けいこ 河内長野

検索

(市議会のご報告は裏面に続きます)